

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 友好交流促進都市推進事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	2	海外との交流の場と機会の拡大
小分類	1	地域国際化の推進
主要な施策	1	国際交流の推進（海外友好都市）
事務事業番号	003	事務事業コード 62211003 事業開始年度 平成 1 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別 一般会計	予算書上の事務事業名 友好交流促進都市推進経費
-----------	-------------------------

部 名 観光経済部	グループ名 観光室 観光振興 G
-----------	------------------

統合前または名称変更前の事業名

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 中国広州市及び周辺都市
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 平成 1 4 年 5 月に中国広州市との「友好交流促進都市」の盟約に基づき、観光振興及び地域レベルでの友好を深めるため、登別市民をはじめ、経済団体による交流を図る。 平成 2 1 年度事業 ・ 2 0 0 9 広州国際姉妹都市大会への参加（平成 2 1 年 1 0 月） ・ 行政訪問団歓迎会の開催（平成 2 1 年 1 0 月 広州市越州区） ・ 中国プロモーションによる政府機関への訪問 （平成 2 2 年 1 月 緊急誘客対策事業補助金にて（社）登別観光協会と共同で実施。）
目指す姿（成果）	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 中国広州市と地域レベルで交流し、観光客の増加につなげ市内経済活性化を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	交流回数	回	目標値	2	4	4	4	4
			実績値	3	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	283	868	650	650	650	1,950
合 計				283	868	650	650	650	1,950
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	431	904			
			嘱 託 員	千円	0	425			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		431	1,329			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 中国広州市とは「友好交流促進都市」の盟約があり、地域レベルの友好交流を促進する事業であること、また、観光客の増加をはかる事業を展開していることから、市が行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 交流の機会が増えているとともに、中国人観光客数が著しく増加している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？ 平成21年7月より中国の個人ビザ発給が可能となった。今後も友好交流を継続し、登別温泉を有効にPRしていくことで、観光客の増加を図ることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？ 広州市と「友好交流促進都市」を盟約しており、今後において観光客の増大を図るとともに、地域レベルの友好交流を促進していくためには、これ以上のコスト削減は難しい。

担当グループによる評価

拡 大	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	友好交流促進都市である中国広州市が平成21年7月より個人ビザの発給が可能な地域となったので、観光客の増大につなげるため、交流回数の増加を図る。
-----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

拡 大	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）